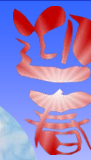


うるおい木曾



Vol. 62

2016・1月

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

発行：木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710(代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

東海三県を水で結ぶー木曾川用水

新年のご挨拶



新年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、降雨に恵まれ、木曾川の流況も比較的安定し、安定した水運用が出来た年でありました。

しかし、細かく見ていくと、雨となれば集中した降雨、晴れば連続した好天、暑くなるべき時に長雨など、荒れた天候の年でもありました。

結果的に節水することなく乗り切ることが出来ましたが、今年においても安心することなく引き続き、気象・天候、木曾川の流況、特に春先の降雨状況に注意を払っていく必要があると考えています。

上流部木曾川右岸地区の木曾川右岸緊急改築事業につきましては、昨年12月に国より認可を頂き、ようやく事業に着手することができました。年度内には、予定の工事を発注すべく本格的に作業を開始しております。また、事業認可にあわせ緊急改築事業を担当する設計工事課を発足し、美濃加茂管理所に常駐させております。

また、下流部濃尾第二地区においても支線水路、揚水機場の機能低下が顕著になってきており、保全管理事業により昨年より工事に着手しています。皆様のご支援を得て、計画的に施設の整備を進めてまいりたいと考えております。

防災業務としては、平成27年の防災体制は、風水害対応が235日間、水質異常対応が6日間となりました。風水害対応は、概ね例年通りではありますが、4月21日に大堰地点で27年の最大となる $2,420\text{ m}^3/\text{s}$ の流入を記録し、雨の降り方が例年と違ってきたことなどが印象に残っています。

また、防災に関しては月1回の防災訓練の実施、施設の老朽化等を踏まえた土木・電気・機械設備の点検・整備に努め、障害等のトラブル発生に適時対応してまいりました。



木曾川用水総合管理所
所長 坂野 一平

私どもは、引き続き、法令を遵守し、業務改善とコスト縮減に取り組みながら用水を安定供給してまいります。関係各位の皆様方には何かとご支援ご協力をお願いすることになりますがどうぞよろしくお願いいたします。

今年が皆様方にとって良い年であることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



出前講座

11月25日（水）、稲沢市立長岡小学校5年生を対象に出前講座を実施しました。機構職員7名が木曾川用水の概要をパワーポイント、模型及び水質実験器具を使用して木曾川大堰の役割、木曾川の水質などについて説明しました。児童は、興味津々に大堰の模型実験や水質の実験に参加していました。



園児のどんぐり拾い

11月13日（金）、稲沢市立長岡保育園の園児30名が、総合管理所の敷地に落ちているどんぐりの実を拾いに来所しました。職員と先生が見守るなか園児たちは大きな声をあげてどんぐりを集めていました。



見ていっぱい採れたよ

所内安全協議会

12月の安全協議会は、機構職員のほか受注者にも参加してもらい「建設土木工事現場の災害防止について」をテーマに一宮労働基準監督署の方の講話をいただきました。

その内容は、非定常作業時の災害を防ごう、職業性疾病の約6割が「腰痛」である、冬季の安全運転、転倒災害の防止、災害を防止するには危険源を回避することがよいなどの話をしてもらい大変勉強になりました。

あわせて、労働安全衛生規則改正にともなう「ロープ高所作業」での危険防止、足場からの墜落防止のための処置強化、労働安全衛生法第66条の10に基づくストレスチェックについて説明をいただきました。



※ 労働災害の種類では転倒事故が最も多くなっているそうです。

「滑り、つまずき、踏み外し」に注意しましょう。



サツキマスの稚魚放流体験学習会

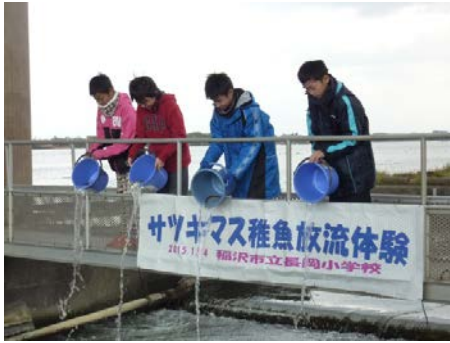
12月4日(金)、大堰近隣の稲沢市立長岡小学校の児童134名を招き、木曾川大堰において毎年恒例となっている「サツキマス稚魚放流体験学習会」を開催しました。

この催しは、毎年、長岡小学校の児童たちに「木曾川の自然環境への理解と親しみを深めてもらう」ことを目的に実施しています。

はじめに、愛知県の方から愛知の四季の魚や漁獲量などの説明を受けたのちに、愛知県と木曾川漁業協同組合より提供を受けた約1800匹の稚魚を全校児童の手により、大堰魚道から放流しました。

当日は、風が強く気温も低かったため、放流の際には向かい風で水がかかったり、魚が跳ねたりして、児童たちは「寒い!!」、「冷たい!!」と叫びながら楽しんで放流を行っていました。

放流した稚魚は、伊勢湾に降りて、甲殻類や小魚を食べて成長し、4～5月頃に河口に集まり、川をのぼり始めます。



環境学習会(気象学)

12月16日(水)防災訓練の一環として、気象に関する学習会を実施し、職員の自然環境に対する意識を高めました。

降雨の長期変動について、1970年以降、年降水量の変動が大きくなっており、極端な多雨・小雨の年が増えている。その要因として地球の温暖化にともない、空気中の水蒸気量が増加し、空気中の水蒸気量が多くなると、1回に降る雨の量が増加する可能性があることや、水蒸気量が増えることが、台風の発達を促すことになるとの説明がありました。

また、昨年9月の鬼怒川の集中豪雨(線状降水帯)についても説明がありました。



※線状降水帯とは

積乱雲が次々と発生し、降水帯が線状に延び、強雨をもたらす。規模は、幅20～50km、長さ50～300kmに及ぶ。

日本での集中豪雨をもたらす線状降水帯の大半はバックビルディング(風上側の同じ場所で積乱雲が次々と発生)型形成だと言われています。



木曾川用水総合管理所業務体験学習会

木曾川用水総合管理所では、12月17日（木）稲沢市立長岡小学校4年生18名を対象に管理所業務の体験学習会を実施しました。

この学習会は、管理所の業務を実際に体験してもらい木曾川用水の日常業務への理解と学校での授業に限らず、この業務体験学習の機会を通じて、水の大切さ、多くの人の水への関わりがあることを知ってもらうことを目的としています。

当日は、木曾川用水の概要説明のあと、3班に分かれてもらい、所長となつての決裁事務処理体験、警報車の機能の体験、操作室での堰操作状況の見学などを行いました。

決裁体験では、所長となった児童から決裁に伺った職員にだめだしが出るなどの模擬体験となりました。

それぞれ体験したあとは、各児童への修了証書の授与と記念撮影をして学習会を終了しました。



人事異動

▼11月1日付け

【転出者】お世話になりました。

管理課 田中 英範（木津川ダム総合管理所）
美濃加茂所 秋元 大志（利根導水総合事業所）
※氏名後ろの括弧書きは異動後の事務所です。

【転入者】よろしくお願ひします。

所付 鵜沢 勝英（豊川用水総合事業部）
管理課 田口 大介（両筑平野用水総合事業所）
美濃加茂管理所 磯田 善之（筑後川局）
※氏名後ろの括弧書きは異動前の事務所です。

▼12月2日付け

設計工事課長 鵜沢 勝英

お知らせ

あけましておめでとうございます。本年も本誌が皆さま方にご愛読いただけますよう努力して参りますとともに、読者の皆さまにとりまして良き年となりますよう祈念しています。

本年も引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。また、施設見学をしてみませんか。事業の説明にも伺います。希望される方はお気軽に連絡して下さい。

編集部
発行



うるおい木曾

木曾川用水総合管理所

〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL (0587) 97-3710 FAX (0587) 97-1482

最新情報はこちらへ

ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

又は【うるおい木曾】で検索してください。

出先管理所

美濃加茂管理所 〒505-0021 岐阜県美濃加茂市森山町4-9-20
TEL (0574) 25-2121 FAX (0574) 28-3354

弥富管理所 〒498-0014 愛知県弥富市五明3-15
TEL (0567) 65-1650 FAX (0567) 65-0445

長良導水管理所 〒511-1143 三重県桑名市長島町西外面1026
TEL (0594) 42-5671 FAX (0594) 42-5674